

# 国語科学習指導案

河内長野市立千代田小学校

指導者 ○○ ○○

○○ ○○

○○ ○○

1. 日時 令和7年 2月10日(火)5時間目(13:55~14:40)
2. 場所 河内長野市立千代田小学校 4年 各教室
3. 学年・組 第4学年1組(36名) 2組(37名) 3組(38名)
4. 単元名 きょうみを持ったことを中心に、しょうかいしょう
5. 教材名 『風船でうちゅうへ』(光村図書)

## 6. 単元の目標

◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。【知識及び技能(知(2)ア)】

○様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。

【知識及び技能(知(1)オ)】

◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

【思考力、判断力、表現力等(思C(1)オ)】

◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。【思考力、判断力、表現力等(思C(1)カ)】

○言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

## 7. 指導にあたって

(1)子どもについて

これまで読むこと、書くことの学習として、「アップとルーズで伝える」では、本文の構造を確かめながら、自分の考えとその理由をまとめた。また「未来につなぐ工芸品」では、中心となる語や文を見つけて文章全体を要約する学習を行ってきた。

「アップとルーズで伝える」では、子ども自身が伝えたいと感じた写真を選び、筆者の考えを引用しながら自分の考えをまとめたが、引用した筆者の考えと子どもの考えを結び付けて書くことが難しかった。また、「未来につなぐ工芸品」では、文章全体の要約をおこなった。中心となる語や文章を見つけて

も、それをうまくつなぐことができない子どもも見られた。このことから、筆者の考えと自分の考えを結びつけて書いたり、相手に伝わるように文と文を上手くつないだりすることが課題である。

社会科での新聞づくりや、国語科のリーフレットづくりの中でも文章を書く際に、自分が表現したいことと書いている文章の内容が結びついていないことがあるので、本単元「風船でうちゅうへ」では、要約と紹介文を書く活動を通して、興味を持ったことをもとにしながら、自分の考えを伝えることができるようになってほしい。また、紹介文の交流で、自分と友だちの紹介文を比べることで、興味を持ったことが違うことや、興味を持ったところが同じでも、表現の仕方が違うことに気づかせたい。

## (2) 教材について

本教材は、尾括型の説明文であり、筆者が風船を使って、宇宙と地球の撮影に成功するまでの過程が、写真や図を用いながら分かりやすく説明されている。試行錯誤しながら、改善を重ね、幾度とも行われた実験や、目的を達成する筆者の姿勢に、興味と驚きをもって読み進められることができる教材である。失敗はマイナスではなく、成功へとつながる発見であるということが書かれており、10歳という節目の時期である4年生だからこそ感じることもあるのではないかと考える。

今回の単元では、一人ひとりが興味を持ったことを中心に読み、文章全体を要約し、紹介文を書くという言語活動が設定されている。読み手の興味に応じた様々な読み取りが可能な教材であるため、そこから生まれる感想の違いが出てくることが予想される。その違いを、紹介文を読み合うことで、それぞれの感じ方の違いや良さを発見させ、子どもたちの学びを深めていきたい。

また、本校の研究主題である、『主体的、協働的な学びの中で、自分の考えを表現できる子どもの育成』という観点で、以下の2点に取り組んでいく。

1点目は、書いた初発の感想を基に、子どもたちが興味を持ったところを分類し、自分が何を中心に、紹介するかを選択する場面である。初発の感想を全体で交流しながら分類することで、友だちの興味と比較することができ、自分にとって関心の高い事柄が明確になってくると考える。そして、自分の興味を持ったところが見つけれない子どもには、友だちの意見から選択させることで、視点を定めて教材を読み進めていくことができると考える。

2点目は、興味を持ったことにそって、大事なところに線を引いたり、要約したりする場面である。似たテーマを選択した子ども同士で、グループを組み、学習を進めていく。『(1)の子どもについて』で述べたように、本学年には、大事な文が見つけれなかったり、見つけた文を上手くつなげられなかったりする子どもが一定数いる。グループ活動を行うことで、文章や言葉がテーマに合っているか、また、抜き出した言葉をどうつなげていくかなどについて、相談や助言をし合い、協働的に学ばせていきたい。

## 8. 単元の評価規準

| 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度                              |
|---|---|--|
| ①様子や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ      | ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C(1)オ                   | 言葉がもつよさに気付くとともに、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。 |
| ②考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア | ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ |  |

## 9. 指導と評価の計画（8時間）

| 時間     | ねらい・学習活動  | 評価規準(観点)<br>【評価方法】等<br>◎指導に生かす評価<br>○記録に残す評価 |
|--------|---|--|
| 1<br>1 | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦「風船でうちゅうへ」を読んで、初発の感想を書こう。</li> <li>・リード文や題名から、どんな話を予想する。</li> <li>・範読を聞く。</li> <li>・初発の感想を書く。</li> <li>・学習計画を確認する。</li> </ul>                         | ◎思・判・表①<br>【ノート】                             |
| 2      | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦感想を出し合って、何を中心に紹介するのかを考えよう。</li> <li>・全文通読をする</li> <li>・前時に書いた初発の感想を、交流する。</li> <li>・興味を持ったことを出し合い、分類分けする。</li> <li>・意味調べをする。</li> </ul>               | ◎主体【発言】<br>◎思・判・表②【発言】                       |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦文章の構成を確かめよう。</li> <li>・全文通読をする。</li> <li>・構成図を書く。</li> <li>・「初め」と「終わり」の大事な言葉や文に線を引く。</li> </ul>   | ◎知・技②<br>【ノート・発言】                            |
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦筆者が行った実験や、筆者が考えたことを整理しよう。</li> <li>・「中」を読む。</li> <li>・それぞれの装置や、打ち上げた結果を表にまとめる。</li> <li>・筆者が考えたことを表にまとめる。</li> <li>・自分が興味を持ったこと(テーマ)を決定する。</li> </ul> | ○知・技②【プリント】                                  |

|           |   |                              |
|-----------|---|------------------------------|
| 5         | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ 興味にそった大事な文に、線を引き、グループで交流しよう。</li> <li>・「中」を読む。</li> <li>・興味にそった大事な文に線を引き。</li> <li>・興味を持ったところが同じグループで、線を引きいたところを交流する。</li> </ul> | ○思・判・表①<br>【ロイロノート】          |
| 6<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ 自分が興味を持ったことを中心に、要約をしよう。</li> <li>・線を引きいた言葉や文をもとに、要約をする。</li> <li>・要約した文をグループで交流する。</li> </ul>                                    | ○知・技②【プリント】                  |
| 7         | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ しょうかい文の構成をたしかめ、メモに整理しよう。</li> <li>・紹介文の構成を確かめる。</li> <li>・紹介文の「初め」と「終わり」の文章を考える。</li> <li>・メモに書く。</li> </ul>                     | ◎知・技①【プリント】                  |
| 8         | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ メモをもとに、しょうかい文を書こう。</li> <li>・メモをもとに紹介文を書く。</li> <li>・チェックポイントをもとに、書いた内容を読み合う。</li> </ul>   | ○知・技①【プリント】                  |
| 9         | <ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ しょうかい文を交流しよう。</li> <li>・グループで紹介文を交流する。</li> <li>・感想を伝え合う。</li> </ul>   | ○思・判・表②<br>【ノート】<br>○主体【ノート】 |

## 10. 本時の展開

### (1) 本時の目標

自分が興味を持ったことに沿って、文章を要約することができる。

### (2) 本時の評価規準

自分が興味を持ったことに沿って、文章を要約している。【知識・技能】(2)ア

### (3) 本時の判断基準

| 十分満足できる状況(A)   | 概ね満足できる状況(B)               | 努力を要する子どもへの支援(C)     |
|--|----------------------------|----------------------|
| 自分が興味を持ったことに沿って、つなぎ言葉を使ったり、要らないところを省いたりしながら、文章を要約している。 | 自分が興味を持ったことに沿って、文章を要約している。 | 教師の例文を示し、完成をイメージさせる。 |



## 11. 板書計画

④ 自分がきょう味を持ったことにそって、  
要約しよう。

例文(悪い例)

例文(良い例)

要約のポイント

① 線を引いたところをつなぐ。

元の分をいかす

文末表現

つなぎ言葉

自分の言葉に言い換える

② いらなところを省く。

チェックポイント

誤字脱字

文末表現

つなぎ言葉

省けるところはないか